

Ⅲ 既設路線の見直し

Ⅲ—1 既設路線の見直し

視点 1 重複する路線を統合

施設連絡線の特徴

- 施設連絡線は、公共施設にのみ停車。
- 一般の市民にとって利用しにくい路線。
- 多くのバス停が、他路線と重複。
- 南西部の公共交通空白地域唯一のバス路線。

多くのバス停が、病院循環線と重複するため、
既設路線の見直しに合わせて施設連絡線を統合。

【施設連絡線の重複バス停】

施設連絡線のみ
アクセス可能な施設

南北線

東西線

施設連絡線のみ
アクセス可能な施設

春日井市民病院

総合体育館

温水プール

勤労福祉会館

市役所

西部ふれあいセンター

健康管理センター

中央公民館

味美駅

味美ふれあいセンター

TKJ城北線

二子山公園

勝川駅

子育て子育て総合支援館

南部ふれあいセンター

道風記念館

JR中央本線

春日井駅

神領駅

高蔵寺駅

高蔵寺ふれあいセンター

愛知環状鉄道線

定光寺駅

保健センター

東部市民センター

都市緑化植物園

少年自然の家

坂下出張所

福祉の里

青年の家

〇 重複するバス停

● 重複しないバス停

—— 病院循環線／地域連絡線

—— 施設連絡線

- - - 民間バス路線

道風記念館、南部ふれあいセンターは
新規路線 道風線(仮称)により対応

施設連絡線のみ
アクセス可能な施設

施設連絡線のみ
アクセス可能な施設

—— 病院循環線／地域連絡線

施設連絡線

----- 民間バス路線

○ 重複するバス停

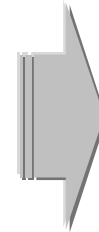
● 重複しないバス停

道風記念館、南部ふれあいセンターは
新規路線 道風線(仮称)により対応

視点2 市役所・市民病院を結節点として設定

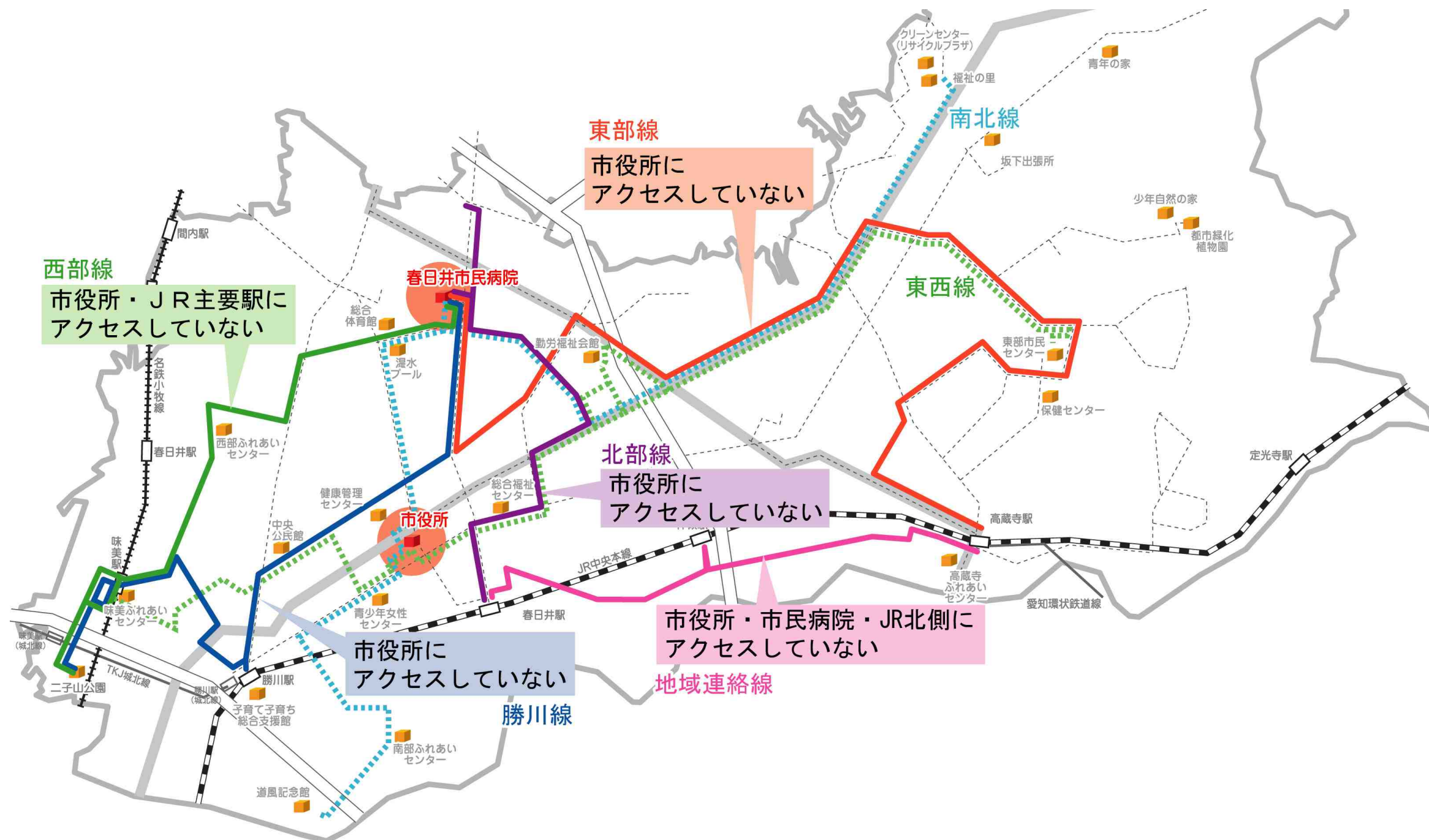
アクセスニーズと既設路線のアクセス施設

- 「市役所」や「市民病院」は、利用者からのアクセス要望が高い。
- 既設の病院循環線は、市役所にアクセスしていない。
- 既設の地域連絡線は、市役所、市民病院にアクセスしていない。



全ての路線沿線から、市役所、市民病院へのアクセスを可能とする。

市役所、市民病院をシティバスの結節点として位置づける。



視点3 既設路線の運行サービス水準を維持

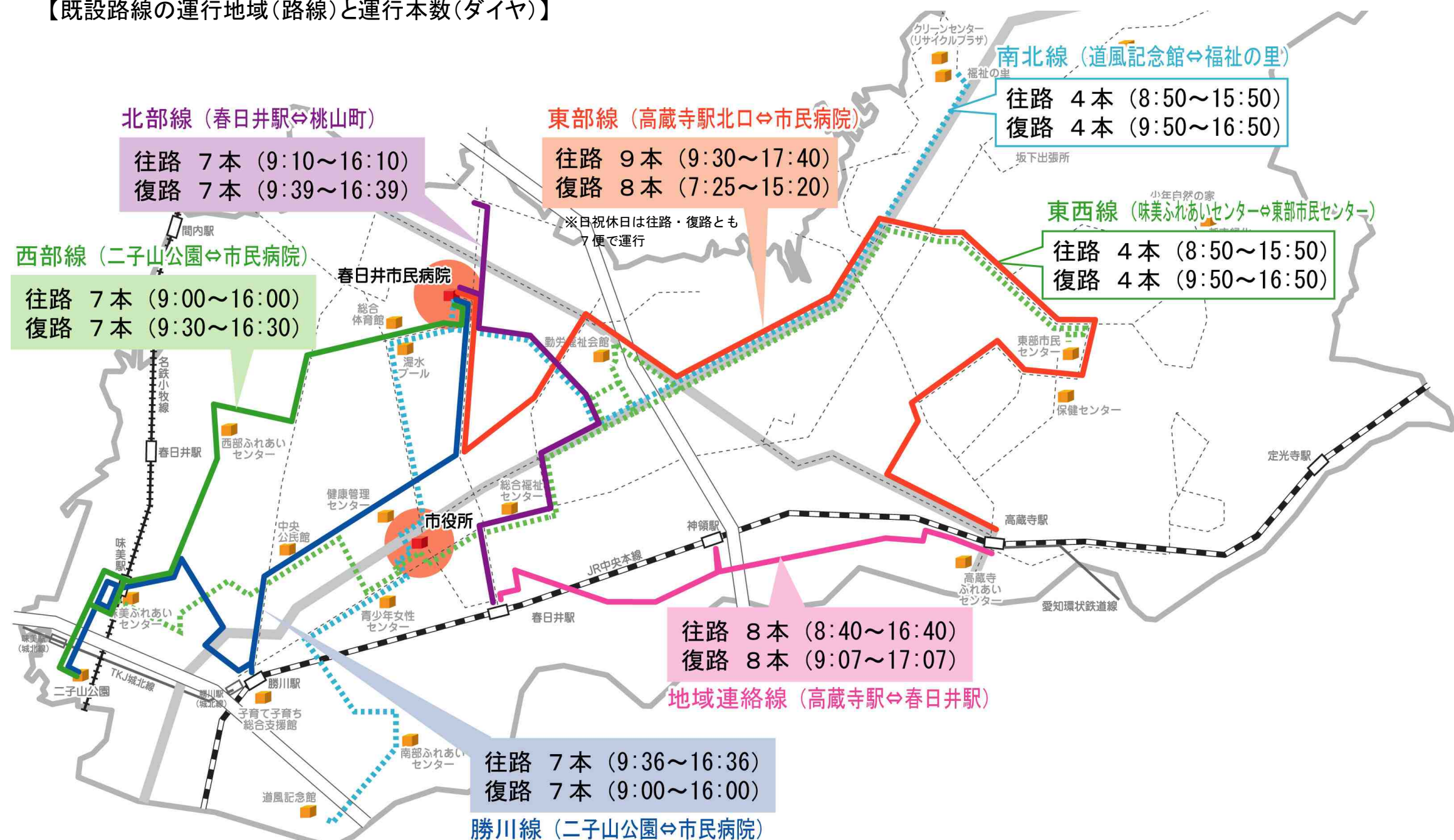
現状の利用実態と運行サービス水準

- シティバスは、年間28万人（H18実績）が利用。
- 市民病院を中心に、市内各地にバスサービスを提供。
- 病院循環線、地域連絡線では、1時間に約1本の運行本数。

シティバスが利用できる地域は、見直し後も運行サービスを維持

見直し後も現状の運行本数を原則維持

【既設路線の運行地域(路線)と運行本数(ダイヤ)】



Ⅲ—2 既設路線の見直し路線案

A 見直しイメージ

見直しの視点

- 視点 1 重複する路線を統合
- 視点 2 市役所・市民病院を結節点として設定
- 視点 3 既設路線の運行サービス水準を維持

見直し時に対応すべき事項

- 施設連絡線のみアクセスしていた施設のアクセス確保が必要。
- 市役所アクセス：病院循環線、地域連絡線を市役所に繋げる必要あり。
- 市民病院アクセス：地域連絡線を市民病院に繋げる必要あり。
- 既設路線の経路を維持したまま、視点1、2に対応することが必要。



見直しイメージ

市役所、福祉の里等に路線を延伸（視点1に対応）

既設の病院循環線で、市役所等へのアクセスを確保。

既設路線の環状線化（視点2、3に対応）

全ての路線沿線から、市役所、市民病院へのアクセスを可能とするため、既設の病院循環線、地域連絡線の乗換え施設で相互接続。

○市民病院 ○高蔵寺駅 ○春日井駅 ○二子山公園

東環状線（仮称）

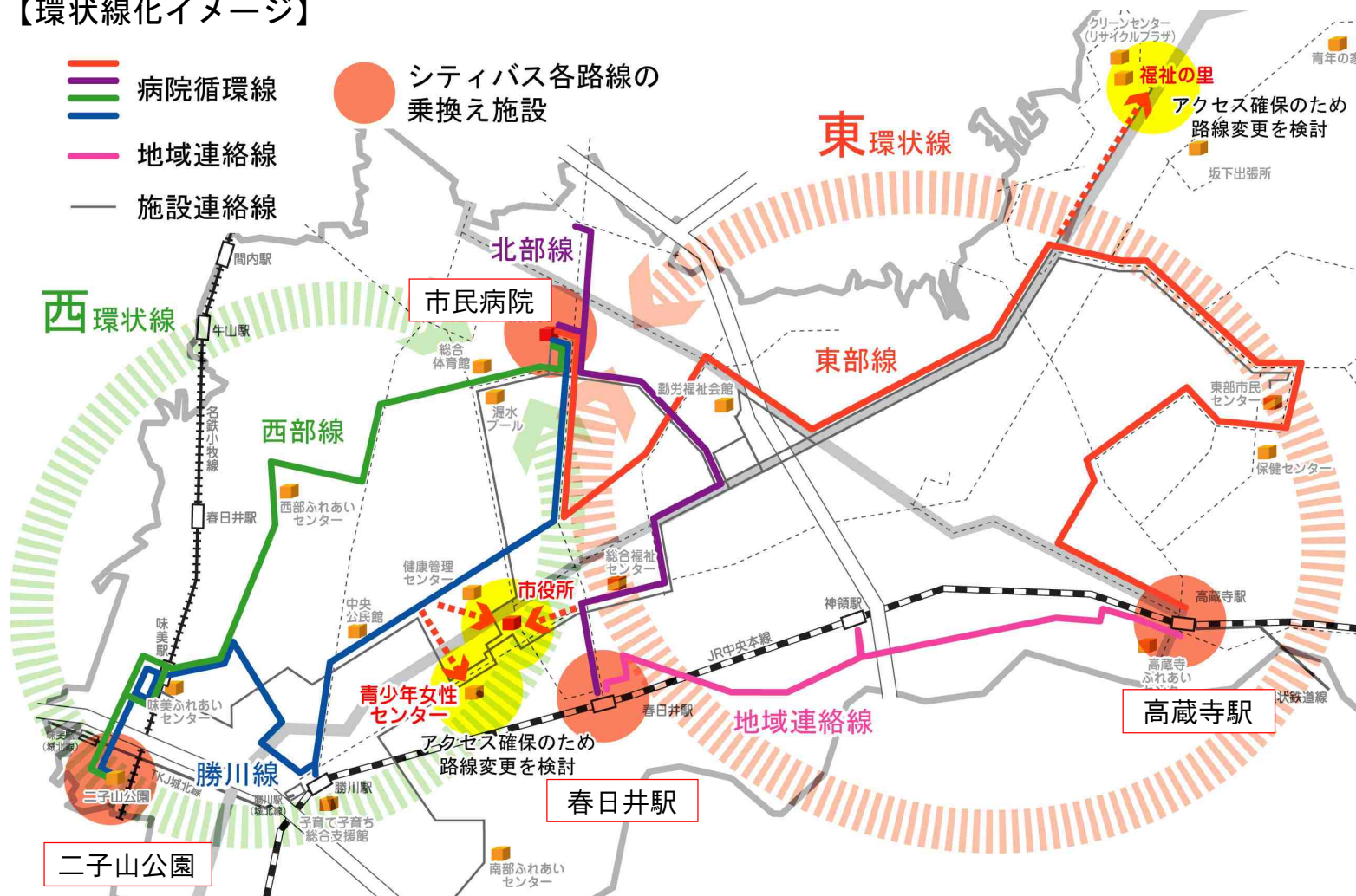
東部線＋北部線＋地域連絡線

西環状線（仮称）

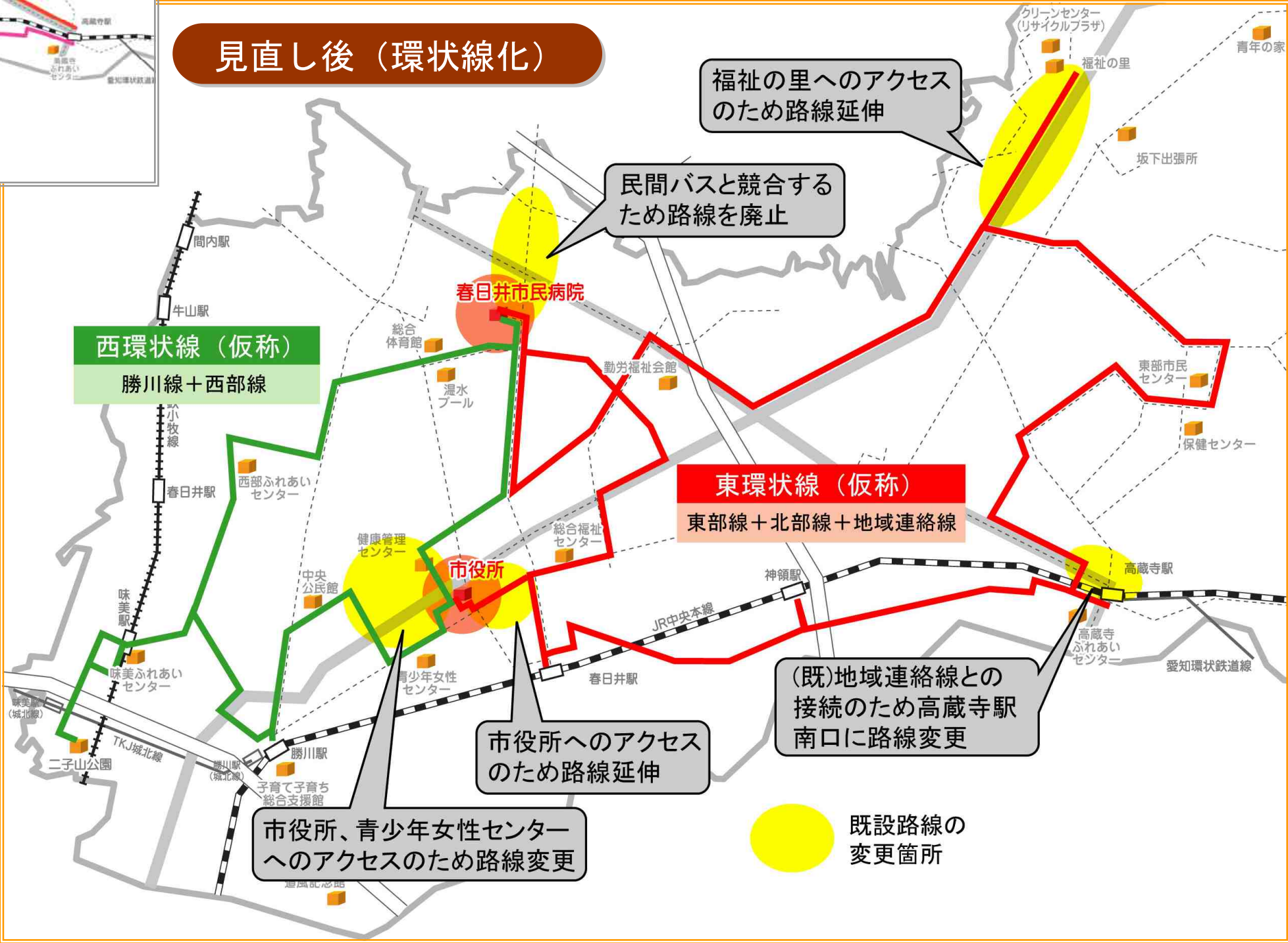
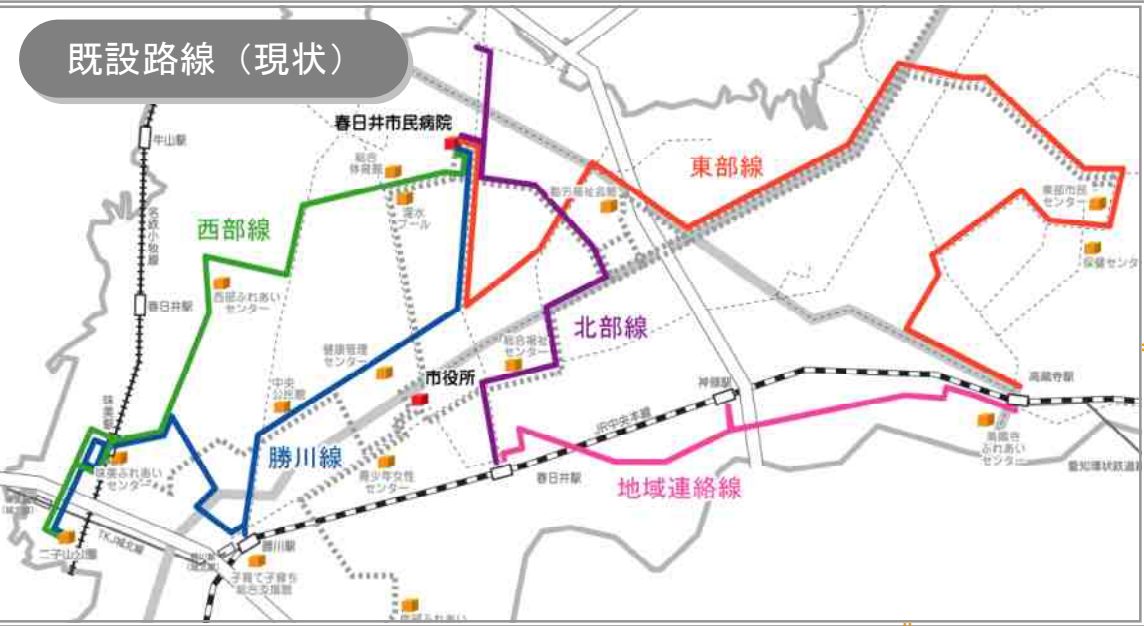
勝川線＋西部線

※具体的な路線は次ページ参照

【環状線化イメージ】



B 見直し路線案



Ⅳ かすがいシティバスの見直し案のまとめ

Ⅳ—1 かすがいシティバスの見直し案のまとめ

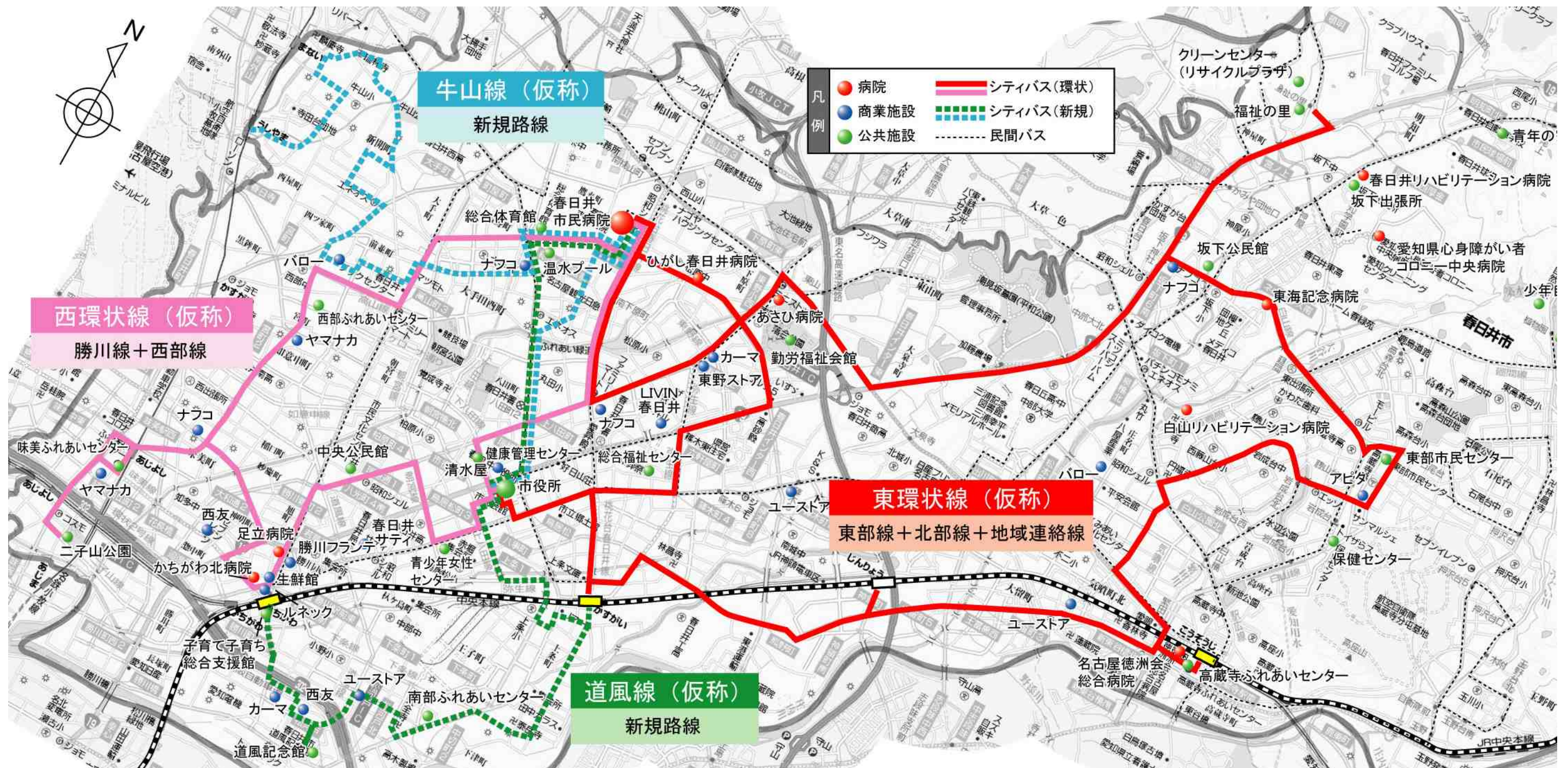
○かすがいシティバスの新規路線追加及び既設路線の環状線化等の見直し案を整理すると以下のとおり。

公共交通空白地域の北西部・南西部への2路線新設

牛山線 / 道風線

既設路線の相互接続による環状線化

東環状線 / 西環状線



Ⅳ—2 見直し後のサービス水準の考え方

1. 運行車両

- 現状：シティバス専用車両と名鉄バス車両（共用）で運行
（地域連絡線、施設連絡線が専用車両）



- 民間バスとの見分けやすさ、運行ダイヤ編成等の自由度の高さを考慮し、専用車両での運行を基本に検討。
- 道路幅の狭い牛山線（仮称）については、ワゴンサイズの車両の導入について検討。

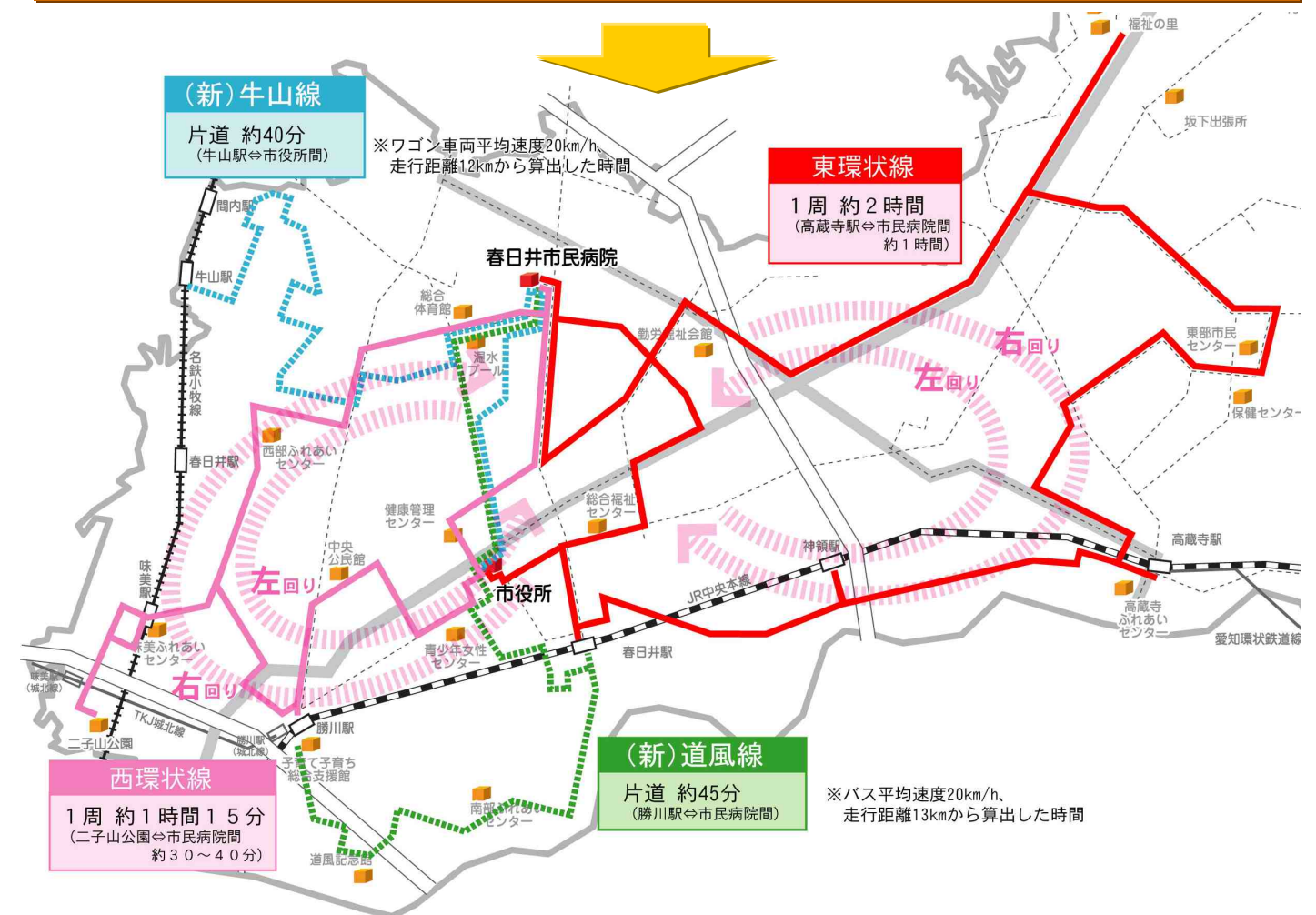
2. 運賃体系

- | | | |
|------|--------------------------|-------------|
| ■ 現状 | ■ 病院循環線・地域連絡線 | ■ 施設連絡線 |
| | 大人 200 円・小人 100 円 | 大人・小人 100 円 |
| | ※全路線、障がい者（手帳所持者）・未就学児は無料 | |

- 全 4 路線 **大人 200 円・小人 100 円**

3. 所要時間と運行本数

- 東環状線／西環状線：既設路線の運行本数、所要時間を原則確保
- 牛山線／道風線（新規）：車両各 1 台で対応可能な運行本数を維持



4. バス停設置の考え方（新規路線 牛山線、道風線）

- 住宅地では、住宅が密集する場所にバス停を設置
- 利用者の目的地となる施設前にバス停を設置
- バス停の最短間隔は **300m** と設定
※バス勢力圏 300m（徒歩で約 10 分）と設定しているため。